

1、大会競技会の名称 ライディングスポーツカップ 39☆CUP

2、大会日程及び開催場所

- 第1戦 4月3日 スポーツランド生駒（エントリー期間3月10日～3月22日）  
第2戦 5月1日 名阪スポーツランド（エントリー期間4月1日～4月17日）  
第3戦 7月3日 近畿スポーツランド（エントリー期間6月12日～6月27日）  
第4戦 10月30日 近畿スポーツランド（エントリー期間9月30日～10月10日）

3、エントリー申し込み

株式会社フレックスまで現金書留もしくはエントリー料金振込後に用紙を郵送もしくは持ち込みしてください。

NSF100トロフィー・74DAIJIRO エキスパートクラス・キッズファイター  
Mクラス・SPクラス・MEクラス・グロムクラス・レディースクラスは、  
年間エントリー可能

4、ライダーの参加資格

常識を持ち、スポーツマンシップにのっとった行動ができるもの。

各サーキットの規則を熟知し順守できる者。

運転免許を所持し、サーキット走行のルールを熟知しているもの

20歳未満の者は親権者の参加同意書が必要。

5歳以上の者でフラッグ等のサーキットルールを理解できオフィシャルなどの指示を素直に受けいれるもの。

該当しない年齢の者でも事前連絡にて特別に競技長が認めた場合のみ出場できる

a) ライディングスポーツ保険の加入していること

第2戦と4戦のみ2015年KSLセーフティメンバーの加入者は参加可能

b) レース出場可能な健康体であること。

c) 運転免許証所持者で過去6ヶ月以内に重大な刑法または道交法違反によって処罰された者であってはならない。

d) 負傷、飲酒、薬物などにより健康状態を維持できていない場合は

速やかに辞退できるもの

e) 参加申込書に記載している誓約書に同意できること。

## 7 4 Daijuro クラス

### 3 9 ☆ C U P

昨年からの変更点は旧ハーフエンジンを使用できません

今年度もゼッケン色と形は読める範囲で自由です。

(注意を受けた場合は変更してください)

---

上記ゼッケン以外は d a i j i r o C u p に準じます。

<http://www.74daijuro.net/daijuro-cup/regulation.html>

エキスパートクラスのみ年間表彰があります。

エキスパートクラスのみ年間エントリーが可能

スポーツランド生駒・堺カートランドのみ

わかばクラス・チャレンジクラスへのライフ車両の参戦は認めます。

詳しくは 3 9 ☆ C U P クラス別けをご覧ください。

## NSF 1 0 0 トロフィークラス

HRC トロフィー車両規則書に準ずる。

詳細は HRC のサイトを参照

<http://www.honda.co.jp/HRC/event/nsf100hrctrophy/>

Mクラスとのダブルエントリー可能です。

### キッズファイタークラス

CRF 5 0 P W Q R D R Z などの車両で安全基準に達している車両のクラスです。

ステップ、ハンドルなどの先端部に丸みがあること。

コーナリング中にステップがコースに接触しないレベルの高さを維持している事。

4 ストロークはアンダーカウル必須。

2 ストロークも含めワイヤーロック、キャッチタンクは必須。

(スポーツランド生駒・堺カートランドのみライフ車製イーグルも参加可能)

年間表彰あります。

## Mクラス・SP 1 2 クラス

ウエイトルール以外は

2 0 1 5 年西日本まるち杯レギュレーションに準じます。

<http://w-japanriders.flop.jp/>

ウエイトに関しては来年度以降調整していく予定です。

同一車両でダブルエントリー可能です。参加台数 3 台以上で開催します。

### グロムクラス

2016年鈴鹿ミニモトのレギュレーションに準じます。

ME・Mクラスとダブルエントリー可能です。

年間表彰あります。参加台数3台以上で開催します。

<http://www.suzukacircuit.jp/mini-moto/>

### Mエンジョイクラス (MEクラス)

12インチ以上のミッション車両

4サイクル125ccまで参加可能。

2サイクル50ccまで参加可能

市販車フレームのみでロードレース用フレームは不可。

年間表彰あり。

エントリー時に

アラフォーはポイント1点加算 (35歳~44歳)

アラフィフはポイント2点加算です。(45歳以上)

マフラー・チャンバー・キャブレターなど改造は自由ですが安全基準はMクラス、SPクラス、鈴鹿ミニモトのレギュレーションに準ずること。

参加タイム制限あり2周切ると名誉の章典外となりハーフポイントとなります。

ルーキークラス・グロムクラスとダブルエントリー可能

トリプルエントリーは不可

エンジョイという名前どおりミニバイクレースを楽しむ趣旨のクラスです。

レースなので本気で走行しますが、無謀な追い抜きや露骨なブロックライン

などないクリーンなレースを出来る方だけ参加ください。

### レディースクラス&遠心クラス40 (RRE40クラス)

12インチ以上の車両でスクーターも可能

排気量は国産125まで

インポートバイクは150ccまでテスト的に参戦可能です。

レディースクラスはタイム制限なし年間3戦開催で年間表彰あります。

3台以上で開催します。

インポートバイク以外のミッション車両はMEクラスとダブルエントリー可能

安全基準は西日本マルチ杯とミニモトレギュレーションなどに準じます。

遠心クラス40は40秒を切れないマシンでクラスです。40秒を切ると章典外です。

4ストロークはアンダーカウル必須。2ストロークも含めワイヤーロック、キャッチタンクは必須。

### ミニバイククラス混走の御願い (NSF100トロフィーを除く)

各クラス台数が3台以上5台未満の場合は混走もありますので御協力御願います。

## 74Daijirō&キッズクラスクラス別け目安

### 74Daijirōエキスパートクラス

各サーキットでエキスパートクラスに参戦しているライダー

スポーツランド生駒で39秒を切るライダー

( ~38秒)

### 74Daijirōビギナークラス

スポーツランド生駒で39秒台を切れない

各サーキットでエキスパートクラスに参加したことのない

スポーツランド生駒で行った初心者クラスに参戦してないライダー

(39~45秒)

### 74Daijirō&キッズチャレンジクラス

74Daijirōとキッズバイクを使った初心者の方向けのクラスです。

スポーツランド生駒を45秒を切っていないライダー

レース経験が少ないライダー (45~1分)

多種のマシンが走るので

シッカリとしたライン取りや抜きあいが出来るライダーはビギナークラスやキッズファイタークラスへ参戦してください。

参照参加マシン 74Daijirō PW50 QR50

第1戦・3戦はライフ社イーグルの参戦が可能

参照マシン以外での参戦希望は事前に主催者確認してください。

### 74Daijirōわかばクラス

## キッズファイタークラス レギュレーション

市販の 2st/4st50cc のオフロード車両で 10 インチ以下

(PW,QR,CRF50,TTR50,DR-Z50 等)

- ① スプロケット、チェーンの変更は可。  
ただしスプロケット、チェーンサイズの変更は不可。  
チェーンテンショナーの取り外しは不可。
- ② 充電コイルの取り外しは不可
- ② リヤサスペンションの変更は可能、ノーマルの改造は不可。
- ③ マフラー・トップブリッチ・ハンドル・スイングアームの変更可能、  
ただし、ショップ製などの責任の持てる物に限る。自主制作等の物は不可
- ④ リミッターカット、CD I ユニット、ワイヤーハーネスの改造、変更は不可
- ⑤ キックペダルの取り外しは可。ただし、キックギアの取り外しは不可。
- ⑥ エアクリーナーおよびボックス、エレメントの改造、変更、取り外しは今年度は可。  
(来期は検討中)
  
- ⑦ クラッチ関連部品の改造、変更は可能 (来期は検討中)  
ステップ位置調整の為のフレームの削除・加工及びステーの追加は可。  
ただし、先端を丸める事
- ⑧ 2st 車両に関しては部品欠品措置として、イグニッションコイルの市販他車種の流用を認める
- ⑨ 4st 車両に関してはエンジン故障時等に対応する為、エンジン下部には、  
オイル受けを取り付けなければならない。来年度以降は そのエンジンに使用される  
オイルの全量分を保持できるオイル受けを取り付けなければならない  
また、この底面には、レイン時等に対応する為の水抜き穴の加工を施し  
ラバーグロメットなどでフタをしておく事
- ⑩ カウルやシートの改造、変更は可。ただし同一素材であり、出荷時の外観を著しく  
損ねる物は不可。
- ⑪ キャッチタンク・ワイヤーロックを取り付ける事。

※エンジンは出荷時の状態を基本とし、原則として改造は認められない

上記規則で各参加マシンの間に著しい性能差や安全性損なわれるような場合は、猶予なく

シーズン中に規制を追加し対応する場合がありますので注意する事

## エントリー料金

74Daijirōエキスパートクラス (5500円)

キッズファイタークラス (7500円)

74Daijirōビギナークラス (6500円)

74Daijirōチャレンジクラス&キッズチャレンジクラス (5500円)

74Daijirōわかばくらす (3500円)

NSF100トロフィー (7500円)

Mクラス (7500円)

SPクラス (7500円)

グロムクラス (7500円)

KTM RC125+インポート125クラス (5000円)

Mエンジョイクラス (MEクラス)

第1戦のみ39☆CUP感謝のサービスで

ライディングスポーツメンバーズ料金含み 7500円

第2戦6500円

(ライディングスポーツメンバーズ加入されている方のみ参戦可能です。)

第3戦・第4戦は6500円 (ライディングスポーツメンバーズか2015年度KSLセ  
ーフティーマンバーに加入されている方のみ参戦可能です)

レディースクラス (4000円)

別途ライディングスポーツメンバーズ加入料がかかります。

第3戦・第4戦の2015年度KSLセーフティーマンバーに加入者は参戦可能です。

## ダブルエントリー

MクラスとSPクラスは14000円  
年間ダブルエントリーの場合 55000円

MクラスとNSF100トロフィーは14000円  
年間ダブルエントリーの場合 55000円

グロムクラスとMEクラスは14000円  
ただし、MEクラス参戦感謝サービスは受けられません。  
ライディングスポーツ加入料金はかかります。

レディースクラスとMEクラスは10500円  
ただし、MEクラス参戦感謝サービスは受けられません。  
ライディングスポーツ加入料金はかかります。

---

## KTM125クラス・インポート125クラス

(KTM125クラスはKTM125賞として別表彰もあり)

ミッション付き17インチ インジェクション仕様車 125cc 4st

17インチクラスレースを楽しんで頂くためのクラスです。  
戦闘力バランスを考慮し、2016シーズン中にレギュレーションの変更が有り得ます。  
御了承いただける方のみ参戦してください。

1. スプロケット、チェーンサイズは変更交換可能  
(車検で安全でないと判断されたものは不可)
2. ハンドル・ステップ・ステップホルダー・レバー・ペダル等の変更は可能  
(先端に丸みがある物とする) フレームへの最小限の加工、カットは可能
3. ブレーキはパッド・ホース・バンジョーボルトの変更は可能  
ボルト類も可能ですが素材は鉄かステンレスに限る
3. フロントフォークのインナーパーツの改造・オイル変更は可能  
イニシャルアジャスター、スタビライザーの追加は可能
4. リアサスペンションの変更は可能、また。変更は可・それに伴うアダプターの使用  
やリンクの改造またストロークセンサーの追加は可
5. エアークリーナーボックスの取り外し改造、ファンネルの使用は可能  
エアークリーナーボックスにブリーザーホースが通っている場合はオイルキャッチタンクを取り付け吸気循環方式処置を施す事
6. オートシフターの取り付けは可能  
ECUセッティングによる燃調、点火時期及びレブリミット等の変更は可能



9. マフラーの変更は可、ただし音量に関してはサーキット規定に合致している事。
10. フェンダー等の / タンクカバー / カウル、可変・フェアリング関連パーツの改造、それに伴うステーの追加やフレームの最小限の加工を認める。
11. 燃料ポンプの改造・変更は可、
12. スロットル・グリップラバー・スロットルワイヤー・クラッチワイヤーの変更・改造は可能。ただし、スロットルボディ本体に関しては一切不可、
13. クラッチスプリング、フリクションディスク、クラッチプレートの変更可能
14. ゼッケンの色指定はありませんが、読みにくいと判断された場合すみやかに変更すること
15. アンダーカウルはエンジン故障時等のオイルの飛散に対応する為、そのエンジンのオイル量を保持できるオイル受け皿を装着すること。
16. ドレンボルト等にワイヤーロックを施す事
17. ステアリングダンパーの使用は可能。ただしハンドルストッパーとしての兼用は不可
18. ~~ホルン・クラッシュマフラー・ターナー等の取り付けは可能~~
- 
- 
- 
19. エンジン・フレーム・アクスルシャフト・ナット用の転倒スライダの装着は可能  
但し、車検で危険と判断されたものは速やかに外すこと。